

介護事故他

発生日	発生部署	性別	年齢	介護度	事故の区分	不適合の内容	改善計画・対策
H25.4.12	2丁目1番館	-	-	-	物品破損事故	PHSを浴槽に落とした。	①PHSを所持する際は必ず落下防止クリップを使用する事を周知・指導する。 ②PHSに限らず備品の取り扱いをする際は、法人の備品である事を意識し丁寧に扱う事を周知・指導する。
H25.5.6	3丁目1番館	女	79	4	骨折事故	右上肢に体重の負荷がかかり、「右上腕骨通頸骨折」にて入院。	①骨折の原因となる可能性を話し合い、介助方法の見直しを行う。 ②臥床時に右肘に負荷がかからないように、1時間おきに姿勢保持を援助する。 ③右側臥位時に負荷がかからないように、訓練担当職員と連携し、理学療法士に負荷軽減の姿勢保持を学ぶ。 ④類似する顧客の把握を行い、個別ケアの危険性を入力を行うことでモニタリング・サービス計画策定につなげる。
H25.5.9	2丁目1番館	男	85	3	骨折事故	離床する際にベッドから転落又はすべり落ちたため、「右大腿部頸部骨折」にて入院。	①状態に応じたサービス計画を策定する。 ②同じ事例が予測される顧客について、居室環境の見直し・改善を実施する。 ③L字タイプのベッド柵を購入し設置する。④同様の事例が予測される顧客を把握し危険性の記録を残す事でモニタリング・サービス計画に繋げる。
H25.6.3	4丁目3番館	女	86	4	骨折事故	右手指をベッド柵にぶつけ、「右手第四指骨折」。	①状態に応じたサービス計画を策定する。 ②同じ事例が予測される顧客について、居室環境の見直し・改善を実施する。 ③両上肢を自由に動かす事が出来、ベッド柵に上肢をぶつける危険性のある顧客については、ベッド柵をクッション性の布で覆う。又はクッションを身体と柵の間に援助し保護する。 ④同様の事例が予測される顧客を把握し危険性の記録を残す事でモニタリング・サービス計画に繋げる。
H25.6.26	2丁目2番館	女	76	5	骨折事故	移乗介助時に右肩に負荷がかかり、「右上腕骨骨折」。	①骨折の原因について職員間で話し合い、介助方法の見直しを行う。 ②状態に応じたサービス計画を策定する。 ③移乗介助は2人の職員で行う。 ④同様の危険性がある顧客について職員間で検討し、個別ケア記録を残す事で、モニタリング・サービス計画に繋げる。
H25.7.16	グループホーム	男	95	2	服薬介助事故	他顧客の薬(降圧剤)を誤って服薬介助したため、血圧が低下し入院。	①食事介助から服薬介助までの業務の役割・危険性を検討し、決定した対策を周知・実施する。 ②服薬介助を行う職員が、服薬介助に集中できるよう、他職員は顧客の見守りに努める。 ③検食を行った職員が薬袋の顧客の名前を確認し服薬介助を行う。④服薬前に、顧客と共に薬の確認を行う。 ⑤申し送りノートにて、服薬介助を行った記録を都度行う。
H25.10.15	4丁目2番館	女	98	5	骨折事故	体位交換時に左上腕を身体の下に敷き込んだ事による「左上腕骨頸上骨折」	①オムツ交換や褥瘡予防の為に体位交換の際には、上腕の位置を目視で確認した上で援助を行なう。 ②同様の危険性がある顧客について職員間で検討し、個別ケア記録を残す事でモニタリング・サービス計画に繋げる。 ③部署会議時に改善計画の進捗状況を確認し、適切に実施出来ているかについての検証を行なう。

介護事故他

発生日	発生部署	性別	年齢	介護度	事故の区分	不適合の内容	改善計画・対策
H25.12.5	グループホーム	女	100	3	骨折事故	歩行中に転倒し、「左頬陥没骨折」	①転倒の危険性がある顧客であると認識し、歩行の際は常に職員が付き添う。 ②職員とご家族で相談し、転倒の危険性がある為チェアセンサー等の使用の検討を行なう。また、個別ケアの見直し、モニタリングやサービス計画の見直しも実施する。 ③部署会議時に改善計画の進捗状況を確認し、実施が出来ているか検証を行なう。
H25.12.20	豊後3階	女	90	4	骨折事故	車椅子より立ち上がり、数歩歩いたところでふらつき転倒し、「右大腿骨転子部骨折」	①転倒の危険性がある顧客と認識し、日中はチェアセンサー、夜間はベッドセンサーを使用する。常に近距離での見守りを行ない、歩行時は必ず付き添いを行なう。 ②同様の危険性がある顧客についても、職員間で検討を行ない、個別ケア記録を残す事で、モニタリングやサービス計画に反映する。 ③部署会議にて改善計画の進捗状況を確認し、確実に実施出来ているか検証を行なう。
H25.12.23	3丁目2番館	男	74	4	骨折事故	移乗介助時における左上腕敷き込みによる「左肩骨折」	①移乗介助時に同様の危険性がある顧客について、部署職員間で検討を行ない、個別ケア記録を残す事で、モニタリング・サービス計画に反映させる。 ②部署会議にて改善計画の進捗状況を確認し、実施出来ているか検証し、同様の事例が発生しないように取り組んでいく。
H26.1.18	3丁目2番館	女	83	5	骨折事故	移乗介助時の転倒における右大腿部骨折	①移乗介助が必要な方については、職員二名で介助を行なう。 ②部署会議時に改善計画の実施状況を確認し、適切に実施出来ているかを検証する。 ③同様の危険性がある方についても職員間で検討を行ない、個別ケアを残すことで、モニタリング・サービス計画に反映させる。
H26.2.27	3丁目3番館	-	-	-	物品破損事故	PHSを洗濯機に入れて水没させた	①洗濯時にはポケット内の中身を確認してから洗濯を行なう。 ②職員がPHSを携帯しない際には、充電器が設置している箇所に保管する。
H26.3.9	5丁目2番館	女	82	4	骨折事故	夜間、ベッドから起きようとして転倒し、左大腿頸部骨折	①部署会議にて改善計画の進捗状況を確認、また確実に実施できているか検証し、同様の事例が発生しないよう取り組んでいく。 ②同様の危険性がある顧客についても適宜、部署職員間で検討を行ない、個別ケアを残すことでモニタリング・サービス計画に反映させる。